

Albirex Racing Team

2018年 全日本フォーミュラ3選手権 シリーズ

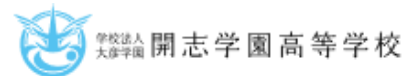
第15戦/ 第16戦 /第17戦/ 第9戦

(スポーツランドSUGO)レースレポート

Race Report

Japanese Formula 3 Championship

Round 15/ 16/ 17/ 9 SPORTS LAND SUGO



大会概要

2018年 全日本フォーミュラ3選手権 第15戦 第16戦 第17戦/ 第9戦

(第9戦は7/29(日)台風21号接近による中止、9/9(日)代替開催日に荒天による

大会名称

スケジュールディレイが発生し開催中止の代替戦)

2018 全日本F3選手権シリーズ 第7ラウンド

開催日

2018年 9月29日(土) 予選 / 第15,16戦決勝

9月30日(日) 第17戦決勝 / 第9戦決勝

開催サーキット

スポーツランドSUGO 1Lap=3.704256Km

出走:16台(Nクラス1台)



#14 Albirex-RT

ドライバー:根本 悠生

Driver Yuki Nemoto

出身地:東京都

生年月日:1996年 9月22日

身長/体重:175cm/70kg

血液型:O型



学校法人 開志学園 高等学校



RACE REPORT

① Rain/Wet ② Fine/Dry ③ Fine/Dry

専有走行① 2018/ 9/27(木) 結果 Pos 9 Time 1' 28.255 / Laps 19/34 Ave.km/h 151.100

専有走行② 2018/ 9/28(金) 結果 Pos 7 Time 1' 14.177 / Laps 38/39 Ave.km/h 179.777

専有走行③ 2018/ 9/28(金) 結果 Pos 10 Time 1' 14.751 / Laps 35/38 Ave.km/h 178.397

公式予選 2018/ 9/ 29(土) 8:00～ 結果 第15戦 Pos10 第16戦 Pos 10

Weather : Cloudy Track : Dry Rd.15 Qualify Time : 1' 13.655 (14/14Laps) Avekm/h 181.051

Rd.16 Qualify Time : 1' 13.702 (9/14Laps) Avekm/h 180.936

* 第17戦は第15戦の決勝結果、第9戦は第16戦の決勝結果によるスターティンググリッドとなります。

第15戦決勝 2018/ 9/ 29(土) 11:28～

Weather : Cloudy Track : Dry Pos 10 結果 13位 (18 Laps)

Rd.15 Race Time : 23' 00.332 Best Lap : 1' 14.674 Lap 9/18

決勝、車輛トラブルにより時間内にグリッドに付けず、PITスタートとなってしまった。
最後尾から追い上げ順位を上げるもスタートでの遅れが響き13番手でのフィニッシュとなってしまった。



MOTOR FREAK



MAKE WINNER

sugar

たわら屋

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



開志学園高等学校



RACE REPORT

第16戦決勝 2018/ 9/ 29(土) 15:43～ Pos 10 **結果 10位** (18Laps)

Weather : Cloudy Track : Dry Rd.16 Race Time : 23' 02.231 Best Lap : 1' 14.453 Lap 9/18

スタート前に霧のような雨が降り出すもタイヤはドライのまま決勝スタート。
レース後半に向け雨粒が大きくなっていき路面もわずかに濡れはじめチャンスが生まれることを期待するも何も起こらず順位は変わらず10位でフィニッシュとなった。



第17戦決勝 2018/ 9/ 30(日) 11:23～ Pos 13 **結果 6位** (20Laps)

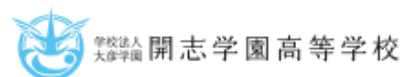
Weather : Rain Track : Wet Rd.17 Race Time : 30' 14.938 Best Lap : 1' 29.368 Lap 5/20

荒天、コースイン時から雨が降り始め路面はウェットとなりレインタイヤでスタートした。
スタート直後の2.3コーナーで前の車両が接触やスピンする混乱の中を切り抜け、ポイントをかけた3台での6位争いが展開されていく。
中盤には前を走る1台がコースアウトし2台での争いになるも、雨を得意とする根本選手が戦いを制し6位にあがりそのままフィニッシュポイント獲得となった。

第 9戦決勝 2018/ 9/ 30(日) 15:08～ Pos 10 **結果 リタイア** (0Laps)

Weather : Rain Track : Wet

スタート直後の1コーナーで他の車と接触してしまいフロントウイングが破損し無念のリタイアとなってしまった。



根本悠生選手 コメント

全日本F3選手権 第15戦&第16戦&第17戦 & 第9戦 スポーツランド菅生

アルビレックスRTにとって今シーズン初の、2回目の開催となったスポーツランドSUGO。第2大会では車への理解度も不十分だった為、今年培ってきたセットアップによってどの様な変化が生まれるのか、ドライバーとしてもエンジニアリングにおいても非常に楽しみな一戦となりました。

通常通り木曜日から開始された練習走行は、初日が雨、二日目がドライというコンディションで行われました。週末は天気不安定という予報があった為、ウェットでもしっかり走行を重ねていきました。ここ数戦ウェットコンディションでは安定した強さ・速さを示している我々ですが、今回はリアのグリップ不足やコーナリング中のリアのバンピングに酷く悩まされ、思うようにタイムを上げていくことができませんでした。特に中高速コーナーでのマシンの一貫性の無さに問題があり、3コーナーやSPコーナーでのタイムロスが大きく結果に響いている様な状況でした。その為この日はダンパーのセットアップを重点的に行い、また翌日のドライでの走行に向けた情報収集にも取り組みました。

翌日金曜日は予報通り晴れ。朝一のみいくつかウェットパッチが残っていたものの、概ねドライコンディションでの走行となりました。順調にセットアップを進めていきたかったのですが、ここでもリアのバンピングに苦しめられてしまいました。様々なセットアップを施し何とかその問題を改善。方向性が見えてからは順調にセットアップを進めることができ、占有走行総合結果でもメルセデス勢トップの8番手となりました。

土曜日の予選では曇り空なもの路面はドライ。SUGOは意外とハードブレーキングコーナーが少ない為、タイヤへの熱入れが難しいサーキット。予選開始と共にコースインし、入念にタイヤに熱を入れていきました。3週のウォームアップランを終えいざアタックを開始しようというところで赤旗中断。まだアタック前だった為ダメージは少なく、解除後すぐに再アタックを開始しました。前日からも大幅に変更したセットアップがいい方向に仕事をしてくれたこともあり、今までたどり着いたことなかった1分13秒台へ突入。タイヤ交換の為ピットインをした際、さらにエアロセットを変更し再アタック。ウォームアップランが若干短く、アタックラップの前半はタイヤのグリップ不足に悩まされたものの、十分に熱の入った後半セクターで巻き返し、パーソナルベストを0.05秒更新となる1分13秒655を記録することができました。

(次ページへ続く)



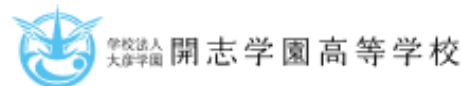
MOTOR FREAK



sugar



GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



(根本選手コメント続き)

第2大会でも、今大会でもたどり着けなかった1分13秒台を叩き出せたことは非常にポジティブな結果だったのですが、順位は第15戦 第16戦共に10番手。トップから1.5秒以上離される厳しい予選となりました。

まずは第1レース、実は予選時から電気システムのトラブルを抱えており、その解決のため土曜の朝からメルセデス・ボッシュのエンジニアの方にメンテナンスして頂いていたのですが、エンジンハーネスを交換しきり決勝グリッドに向かおうというところでセルモーターが回らないトラブルが発生。原因はすぐ特定できたものの、グリッドには間に合わずピットスタートとなりました。後方からのスタートが決まったところで、今まで試していないアグレッシブなセットアップ・戦略を取り、残り3戦に向けたデータ収集を主な目的としました。トップから20秒以上遅れてのスタートとなり、前半は単独での走行が続いたものの、コンスタントなペースで前を追い、最終的には10番手争いに加わる事ができました。攻めたセットアップによって特に後半のペースが良くなる事が分かり、チームとしても次のレースに向けて良いデータを収集する事ができました。

第2レース、スタートが上手く決まり9位にポジションアップすると、全方の接近戦のすぐ背後につきました。少しでもチャンスがあればオーバーテイクを仕掛けようと準備をしていたものの、レースペースに大きな差があり、また僕らはハイダウンフォース仕様を使用していたこともありレース中盤から徐々に離されてしまいます。スタートで追い抜いた車両も、圧倒的なペース差があり抑え込むことができず結果的にはスタートポジションから変動なく10位でゴールとなりました。

この第2レースの特に10周目以降、金曜日に発生していたリア挙動の信頼性の無さ、バンピングが再発。これといって原因となり得るようなセットアップ変更をしたつもりもなかった為、少々不可解な挙動でした。最後は車をコース内に留めることで精一杯という状況になってしまい、不満の残るレースとなりました。

日曜日に行われた第3レースは一転してウェットコンディション。練習走行時のセットアップに多少の変更を加えた程度でレースに挑みました。元々はあまり得意としていなかったF3での雨のスタートですが、今回は非常に上手く行きスタートで2台をオーバーテイク。その後全方で起きたクラッシュに乗じて3ポジションアップ。13番手から一気に8番手まで順位を上げました。そこから自分のペースが良いのは分かっていたのですが、前の二人が厳しくなる後半に勝負を仕掛けるためにタイヤをセーブする走りに切り替えました。ただ前がミスをしたり、距離が近付いた時にはしっかりプレッシャーをかけていきました。その甲斐あってか、2台ともそれぞれヘアピン、馬の背でコースアウト。6番手に順位を上げ、そのままゴール。今週末初のポイント獲得となりました。

(次ページへ続く)



MOTOR FREAK



sugar



GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



学校法人 開志学園 高等学校



(根本選手コメント続き)

初の4レース開催の最終レース、10番手スタートからこちらも抜群のスタートを決め、すぐに8番手と並走。しかしどんどんアウト側に寄せられてしまい更には僕の左側にも1台車両がいた為3ワイドで行き場を失ってしまうことに。ブレーキングの前に減速し引こうとしたのですが、そのスペースすら残されておらず、フロントウイングを破損。それが右フロントタイヤに接触しており、ピットまで戻るのには危険だと判断し車を止めました。良いペースで走れると分かっていただけに、非常に悔しい一戦となりました。

初の4レース開催となった今大会。練習走行に発生した信頼性の問題を解決するのに少々時間がかかってしまったことがドライレースでの一番の敗因となってしまいました。逆にウェットコンディションでは、練習走行からレースに向けて非常に良い方向でセットアップを煮詰めていくことができポイント獲得ができたことはとても良かったと思います。

次戦の富士スピードウェイは根本悠生としては参戦しないことが決まっており、僕のF3初レースはこれで終了となります。初めてのダウンフォースフォーミュラで一年間戦い抜き、ドライバーとしてまた一步成長できたと思います。素晴らしい環境を用意してくださったアルビレックスRTに感謝致します。

ここで学んだことを活かし、レーシングドライバーとして更なる成長を遂げられる様、来年以降も引き続き頑張ってもらいます。

これからも根本悠生とアルビレックスRTの応援を宜しくお願い致します。

根本 悠生

中村監督 コメント

菅生戦は根本選手も自信があるコースという事で、チームとしても万全な車両調整で新たなTRYも入れて挑みました。しかし木曜日から全体的にグリップ不足の感覚に悩まされました。

R15,R16と根本選手はモチベーションを落とす事無く努力を継続しました。

R17は決勝6位とポイントを獲得する事もでき、全体的な車両調整は上向きとなり、代替え戦のR9はかなり期待ができるセットアップとなりました。

しかしアクシデント発生で終了してします。期待が大きかっただけに残念な結果となりましたが根本選手、チームとも最大限に努力したと思います。

富士戦が本年度最終となりますが、チーム一丸となり努力いたします。

最後まで応援宜しくお願いいたします。

